

＜運動方針の策定にあたって＞

２０２６年度は、組合結成５０年を迎える。トッパン・フォームズ フрендシップ ユニオン（以下、フォームズユニオン）の、この積み重ねた５０年の歴史は非常に重く、そして、先人を含めた成果と実績は計り知れないものを生み出してきた。一方、昨年の運動方針は、企業の変革と、その影響による組合組織の将来などを背景に、フォームズユニオンとしては柔軟な体制で臨むべく１年一区切りを基本とした単年度で確立した。また、２０２３年から実施されてきた企業変革については、労働条件の改定を含め昨年度の中で一定の形で当面の方向性が示されたものと思われた。しかしながら、２０２５年３月には、「２０２６年４月１日を起点とした企業統合」が発表されるなど、我々を構成する企業変革は引き続き行われていくという状況にある。このような環境下、２０２３年の第４８回定期大会で打ち出した「持株会社体制移行に伴う労働組合の対応に関する件」について、前期（２０２５年２月）の中で、中央執行委員会の理解のもと定期大会に次ぐ決議機関である中央委員会の決議を諮り組合組織の統合に関する組織図案が一定の方向で組織決定された。しかし、新たな企業変革により仕切り直しの状況に陥った。この様に、労働組合形成の基礎となる企業の変化を含め、我々フォームズユニオンを取り巻く環境は激変しており、その影響は、我々フォームズユニオンにおいても大きなものとなっている。

以上、２０２６年度の運動方針については、組合結成５０年の節目を一つの柱と捉え、引き続き変化と環境を考慮し昨年同様の単年度（２０２６年度）の内容で確立し柔軟な考え方と対応で臨んでいく。そして、将来に亘り従業員が「安心して働き、安心して生活できる環境の実現」を確実なものにしていく。